

飲み水に注意してください！

水道が断水した場合の飲み水は、
ペットボトルの水(災害備蓄用等)や給水車の水を利用してください。

- 水道水以外の水には、細菌等が多く含まれている場合があります。
- また、飲み水として、常用していた井戸水でも、
災害により汚染される場合があります。
その場合には、飲み水に適合するかどうか、検査が必要となります。
飲み水の「色、にごり、におい、味」に異常がないか、毎日確認しましょう。
- 感染症を予防するためにも、ペットボトル等の容器へ給水する時は、
容器の口の部分を蛇口につけないよう注意しましょう。



利用できるきれいな水が少ない場合の工夫

●水の効率的な使用

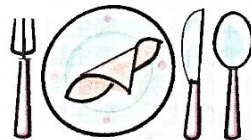
洗顔に使った水はトイレの流水に使用する等の工夫をしましょう。

●手洗い・消毒

手を洗ったあと、アルコールスプレーなどで消毒をしましょう。
特に、調理前や食事前、トイレの後は消毒を心がけてください。

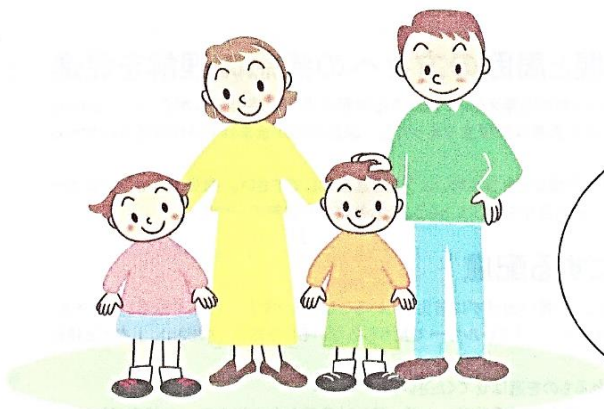
●食器の使い方

- ・水道水の出ない間は、使い捨ての容器や割りばしを利用しましょう。
- ・食事のたびに、食器に食品用ラップフィルムを敷くのも、食器を洗わず食事をするひとつの方法です。



こどものアレルギー症状でお困りの方へ

災害時のこどものアレルギーに関する相談窓口を設けました。



アレルギー専門医が、災害時の小児のアレルギー性疾患全般（ぜんそく、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど）に関連するお悩み等についてご相談に応じます。



<E-mailでの相談窓口>

メールアドレス：sup_jasp@jspaci.jp

ぜんそく、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーに関しては「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」を作成しました。（これは患者さんの保護者の方々、周囲の方々、行政に携わるの方々のためのものです。）
<http://www.jspaci.jp/>からダウンロードできます。

日本小児アレルギー学会

住所：〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3 MYビル4階

岡山県 災害時公衆衛生活動マニュアル
平成29年3月 岡山県保健福祉部 P70